

～広報・みずかわ～



国土交通省 岩手河川国道事務所
水沢出張所

(令和2年1月)

奥州市水沢東大通り1-2-14

TEL : 0197-24-4173 FAX : 0197-22-8045

『広報・みずかわ』は、水沢出張所管内（花巻市～奥州市）の北上川に関わる様々な取り組みや活動をお伝えします。

出前講座 ～地域防災力の向上～

令和2年1月16日(木)に、花巻市の「矢沢地区自主防災連絡協議会」の皆様を対象に出前講座を行いました。矢沢地区は北上川と猿ヶ石川に挟まれ、新幹線の新花巻駅やJR釜石線が通る南北6km東西8kmに広がる、農業を中心とした地域です。今回は地域の皆さんで矢沢地区の地域防災力の向上を目指した勉強会が企画され、各行政区等でご活躍の約50名の皆様が賛同・参加されました。

ところがその実態は、参加者の多くが平成14年、平成19年の大出水の経験・記憶が無く、防災士資格取得者も1名程度、ハザードマップは「見たことがある」程度の状況でしたので、あらためてH19洪水時の航空写真から実際に内水で浸水した道路を確認し、どこを迂回すれば避難所に辿り着けるか、ハザードマップを重ね、地域が抱えている内在的なリスクを正確に把握し、そのリスクとどう向き合い被害を最小限にするかを再確認しました。また避難の際には、長期にわたる避難所生活を想定した持ち物（メガネ、保険証、処方薬、お薬手帳等）をリストに加えること、また、大人が思っている以上に中学生達も組織だって避難所等の運営を手伝ってくれることなども学習しました。

普段からの事前の備えと連絡体制を確立しておくことで、いざというときにも冷静かつ臨機応変の判断が行えるように、あらためてお願いしたいところです。



みなさんも普段からもしものための備えをしておきましょう。

管内の橋梁紹介 ～再巡橋（奥州市）～

一般県道・西根佐倉河線の胆沢川にかかる『再巡橋』は、岩手県奥州市（旧水沢市）の北部に位置し、昭和9年竣工の橋長約350mの15径間、鉄筋コンクリートのゲルバーT桁橋です。

胆沢川は、旧奥州街道の水沢宿～金ヶ崎宿の間に位置しており、江戸時代初期までは徒渡り（かちわたり【※】）で、以後は船橋や舟渡りであったようです。その後、明治9年の明治天皇東北御巡幸のために橋が架けられ、当初は「胆沢川橋」と呼ばれていました。ところが、その後の洪水で流失してしまったため、明治14年、明治天皇の再度御巡幸にあわせてこの橋を架けなおしたことから、『再巡橋』と名付けられたと言われています。

現在の橋は、昭和9年に架けなおされたものですが、どことなくレトロな雰囲気を漂わせています。やはり、明治という時代を背負った橋ゆえの風格なのでしょうか。

【※】川などを歩いて渡ること。



「川をきれいにする」児童図画コンクール入賞作品展示について

北上川水系水質汚染対策連絡協議会上流支局では、次世代を担う北上川流域市町村の小学生に「かわをきれいにする」をテーマに児童図画コンクールを開催いたしました。本年度は江釣子小学校からの応募作品が、絵画・ポスターの両部門で特選に選ばれました。おめでとうございます！入賞作品は、現在イオンモール盛岡南にて展示中です。お近くにお越しの際は是非ご覧ください。

図画部門

ポスター部門



【特選】北上市江釣子小学校4年 高橋龍冬さんの作品



【特選】北上市江釣子小学校4年 高橋ゆささんの作品



江釣子ヨッピーセンター
パルで展示の様子
(1/10～1/19)

展示場所：イオンモール盛岡南 3階

展示期間：令和2年1月20日(月)～1月30日(木)